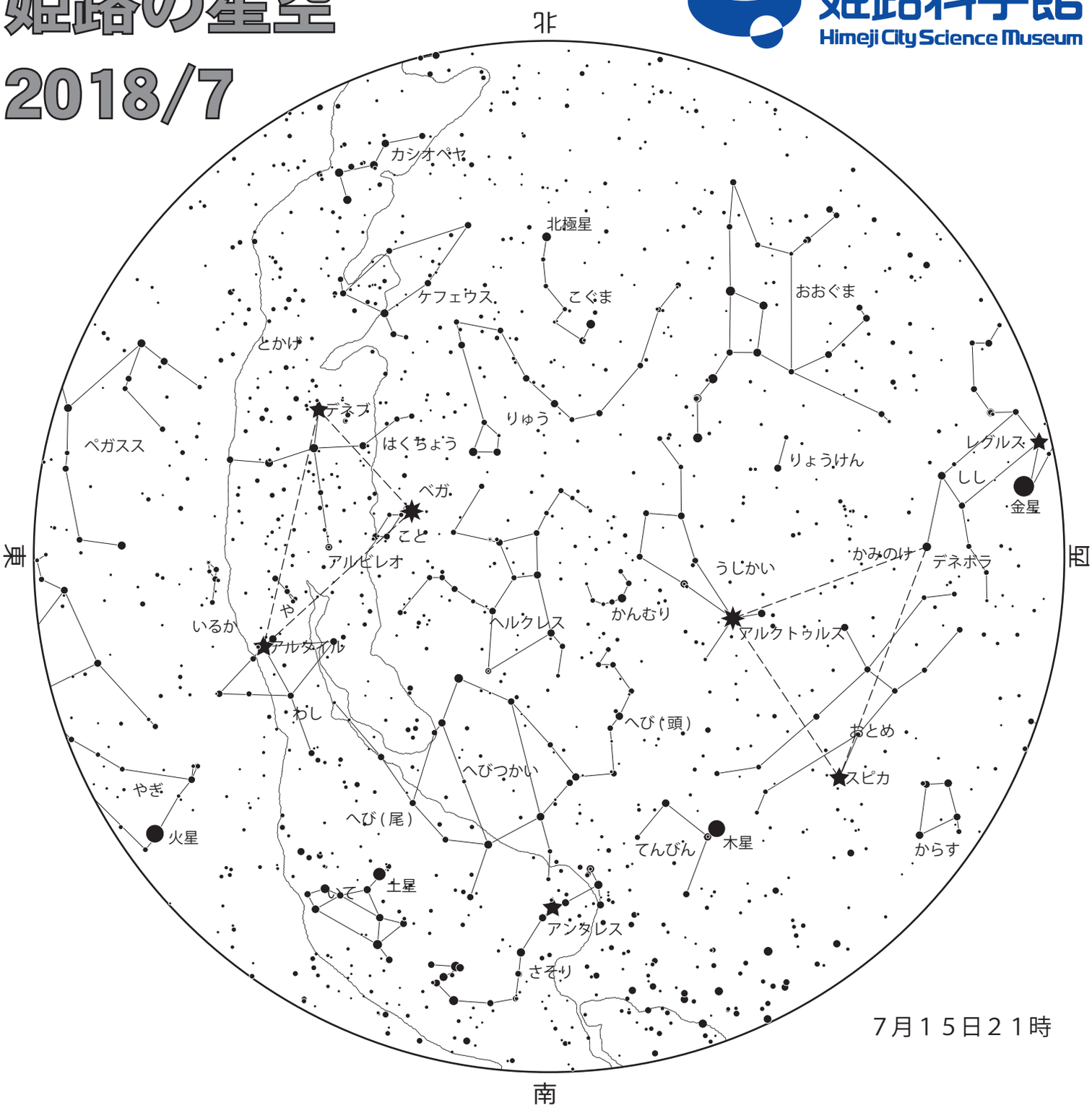
姫路の星空
2018/7

姫路科学館
Himeji City Science Museum



7月15日21時

西の空の一番星は金星です。目のいい人は、日没の少し前に見つけられるかもしれません。同じ頃、南の空には、木星も目立ちます。西側の見晴らしが悪いところだと、木星が一番星になるでしょう。南東には土星が見えます。土星の環は夏休みが見頃です。また、南東の空低く火星が見え出しました。7月31日に大接近を迎える火星は、夏休みのあいだ、明るく目立ちます。秋にかけて、星座の中を動くようすも観察してみましょう。

北西の空には北斗七星が見えます。北斗七星からは北極星を探しましょう。北斗七星は星座ではなく、**おおぐま座**の腰からしっぽの星たちです。クマのしっぽのカーブ伸ばした先には、**うしかい座**のアルクトゥルス、**おとめ座**のスピカが見つかります。この2つの星と**しし座**のしっぽの星デネボラと合わせて春の大三角を作ります。

南の空には**さそり座**のアンタレスが見えます。土星の下が**いて座**です。東の空には夏の大三角が見えます。3つの星は、**こと座**のベガ、**わし座**のアルタイル、**はくちょう座**のデネブです。大三角からさそり座・いて座にかけて、天の川が流れます。木星のそばの**てんびん座**、ベガとアルクトゥルスの間の**ヘルクレス座**、南東の空の**へびつかい座**と**へび座**なども探してみましょう。